



「選べる時間と場所」×「手厚い個別サポート」が最短距離でプロフェッショナルへと導く！

日本映像翻訳アカデミー(JVTA)の 新・「英日/日英映像翻訳科」

ステップ(期間)・学び方の特長・費用・修了後のサポートなどについてご紹介します

STEP3

英日マスターコース 実務を想定した模擬訓練

- ✓ 2カ月/動画授業8回(約12時間)/課題添削有り
- ✓ メンター・トレーナーによる個別セッション 期間中6回(約3時間)
- ✓ 授業料 148,500円(税込)

STEP2

英日コアコース プロの理論とスキルを修得

- ✓ 6カ月/動画授業23回(約28時間)/課題添削有り
- ✓ メンター・トレーナーによる個別セッション 期間中18回(約10時間)
- ✓ 授業料 385,000円(税込)

STEP1

英日ディスカバリーコース 未経験でも安心の基礎学習

- ✓ 4カ月/動画授業15回(約17時間)/課題添削有り
- ✓ メンター・トレーナーによる個別セッション 期間中12回(約7時間)
- ✓ 入学金+授業料 209,000円(税込)



- ✓ どの月からでもスタート
- ✓ JVTAの快適なデジタルキャンパスに招待
- ✓ 自由な時間に動画で受講 Video On Demand
- ✓ 定期的な個別指導

STEP0

無料個別説明会



- ✓ 無料で気軽に予約
- ✓ 英語レベルや不安な点などを確認
- ✓ 「英日」・「日英」を選択

効率的に力を伸ばし、学習の継続を支える3つのポイント

- ① 映像翻訳の全技能、字幕・吹き替え(リップシンク・ボイスオーバー)を習得
- ② ジャンルは映画・ドラマ・音楽ドキュメンタリーなど。日英ではマンガ・ゲームも
- ③ AIを用いた最新手法、フリーランスの働き方など実務に不可欠なノウハウも学べる



日英マスターコース 実務を想定した模擬訓練

- ✓ 2カ月/動画授業7回(約10時間)/課題添削有り
- ✓ メンター・トレーナーによる個別セッション 期間中6回(約3時間)
- ✓ 授業料 137,500円(税込)

日英コアコース プロの理論とスキルを修得

- ✓ 5カ月/動画授業18回(約22時間)/課題添削有り
- ✓ メンター・トレーナーによる個別セッション 期間中14回(約8時間)
- ✓ 授業料 335,500円(税込)

日英ディスカバリーコース 未経験でも安心の基礎学習

- ✓ 3カ月/動画授業11回(約12時間)/課題添削有り
- ✓ メンター・トレーナーによる個別セッション 期間中9回(約5時間)
- ✓ 入学金+授業料 187,000円(税込)



受講の進捗を見守り、学習の継続を後押しします。成果や悩みを聞き取り、個々に応じたカルテを作成。修了後のキャリアパスなどを共に考え、アドバイスをを行います。

メンター



授業の内容や提出課題に対する添削レビューのフィードバックについて、受講生の成果や疑問をじっくり聞き取り、効果的な「トレーニング・セッション」を行います。

トレーナー

＜＜ 学習効果・効率を高める学びのサイクル(JVTAメソッド) ＞＞



<PR>

映像翻訳の学び方は新たなステージへ！

日本映像翻訳アカデミー(JVTA)が本科を刷新 「英日/日英 映像翻訳VODプログラム」誕生!!

2026年に開校30周年を迎えた日本映像翻訳アカデミー(JVTA)。映画やドラマはもちろん、ドキュメンタリー・音楽・スポーツ・バラエティなど、あらゆる動画が国境や言葉の壁を越える時代にあって、「AIの代替が困難なタスク」である字幕・吹き替え翻訳のプロを育成し続けてきた。そうしたなか、より効果的かつ効率的なメソッドとプログラムによってプロを目指すコースがスタートする――。



JVTA 代表 新楽 直樹

映像翻訳のプロによる個別指導で一人ひとりの「学習カルテ」を作成

「変わる」話の前に、まずは「変わらないこと」についてお話ししましょう。

映像翻訳需要の拡大傾向はこの先も変わらないでしょう。世界中から日本に降り注ぐ動画はもちろん、日本から世界への輸出も増加しています。2026年、日本政府は我が国の動画作品やマンガ、ゲームなどを世界市場に送り出すコンテンツ輸出事業を「基幹産業」と位置づけました。そのなかで翻訳者は正式に「育成・確保すべき中核的専門人材」と定義されています。AIを活用しつつも学んで育つてほしいと期待されているのです。

したがって当校のミッションも変わりません。「2つ以上の言葉の習得に多くの時間と情熱を注いできた方々が、その力を活かして自立し、社会に貢献できるようサポートする」。AIで世界が近くなるからこそ(もつ)と思いを伝えたい、行間までを感じ取りたいというニーズも増え続けます。橋渡し役を担えるのは、正しい技能を習得した言葉のプロだけです。

一方で「変える」必要があったのは、今の社会や皆さんのライフスタイルに合わせた学び方の提案です。当校ではフルリモートで学べるとはいえ、「決められた時間の授業に参加する」、「課題の添削は個別だがフィードバックは授業時間内で行う」など、一般的な学校形式を採用していました。刷新されたコースの最大の特長は、「時間や場所に縛られない動画授業」と「メンター・トレーナーによる個別サポート」です。授業は動画、しかし受講期間中は指導員が常に並走しながら個別セッションを繰り返します。「あなただけの成果や悩み」に寄り添い、カルテを作成して学習ペースや強化すべき点を見定めていくのです。

次のページからは新コースの具体的な内容を紹介していきますので、ご覧ください。映像翻訳者の育成をリードしてきた当校だからこそ実現したカリキュラムです。ぜひ門をたたいてみてください。

字幕や吹き替えは「個性」の賜物

新カリキュラム構築の責任者、桜井徹二講師は、個別サポートについて次のように語る。「映像翻訳には明確な『正解』がありません。1000人いれば、1000通りの訳があります。だからこそ、受講の段階から一人ひとりに向き合って、その人ならではの発想力や言葉の編み方を伸ばす手伝いをするのが重要なのです」。

JVTA修了生とスタッフに聞く「個別サポートの大切さと重み」

JVTAではこれまでも「受講生全員の個別面談」「クラス担当スタッフ制度」など、一人ひとりの受講生に向き合うことを大切にしてきました。新カリキュラムではその伝統を明確にメンター・トレーナーによる「個別サポート」と定義し、実践していきます。



修了生
水野 可南子 さん

スタッフ兼講師
桜井 徹二 さん

「講師が自分の悩みに寄り添ってくれた」と振り返るのは、英日映像翻訳の修了生、水野可南子さん。「受講中に落ち込む私に『悩むのは真面目に取り組んでいる証拠。必ず結果に表れる』と励まし、具体的なアドバイスを授けてくれました。その体験で得た喜びと自信は、プロになった今でも仕事に臨む際の原点です」。JVTAには講師と実務部門のディレクター職を兼ねる社員が多い。その言葉には（近い将来、共に働きたい）という願いがこもる。

プロデビュー後も助言が支えに

「授業で知った本をプロになった今も活用している」と話すのは、日英映像翻訳コース修了生の内藤裕子さんだ。きっかけとなったのは個別面談。指導スタッフに指摘された弱点を克服する方法を考えていた時、その本のことを思い出して購入したと言う。英語字幕の作成で冠詞の使い方などに悩むとさっと聞くそう。



修了生
内藤 裕子 さん

メンターは修了生の先輩たち

入学前から様々な相談にのるのが「スクール部門」だ。新カリキュラムの「メンター」も、主にこの部門に属するスタッフが務める。水野さんは「入学前の個別相談でスクール部門のスタッフが迷っている私の背中を押してくれた」と微笑む。

この部門でチーフを務めるのが溝端麗さんだ。自身もJVTAの修了生であり、映像翻訳者としても活動する。

「私だけでなく、スクール部門のスタッフは全員が修了生なんです。だから、受講生の不安や悩みは手に取るようにわかる。そんな時は自分の経験を重ねつつアドバイスしたり、その悩みに応えられる講師につないだりしながら寄り添うようにしています」。

JVTA®

日本映像翻訳アカデミー

東京校：東京都中央区日本橋本石町
3-2-4 共同ビル(日銀前)2F/3F



まずは気軽に無料の「リモート個別説明会」へ。カリキュラムについてはもちろん、映像翻訳業界にも明るいスタッフが案内役になってくれる。JVTAの個別サポートはここから始まっていく。



スクール部門
溝端 麗さん

スクール部門はもちろん、講師や映像翻訳実務部門のスタッフまでが個別サポートを重視。それによって受講生をプロの世界へ導いてきた実績と伝統が、JVTAには根づいている。新しく生まれる動画視聴型のカリキュラムは「メンター・トレーナー制度」の導入によって、むしろ個別サポートを行う体制が強化されたと言える。

最終コースを修了しても、個別サポートはシームレスに(切れ目なく)継続！
トライアル(プロ化試験)は2カ月に1回のペースで実施(受験回数に制限なし)

修了・プロ化後も
自由選択できる
ブラッシュアップ講座・
セミナーが多数！



コース

- 英語力強化のための「ロジカルリーディングコース」
- 日本語表現力強化コース(スキル研究など)

セミナー

- 先輩たちからリアルな話が聞ける「映像翻訳者としてのこれからを考えるセミナー」
- 働き方の最新事情を知る「フリーランスの仕事術」

交流会・ネットワークづくり

- 学習期間中の有志がつくる「勉強会」
- プロ化した修了生が集う「情報交換会」
etc.

LIVE



STEP6

プロデビュー

- * JVTA受発注部門から仕事を受注
- * 納品原稿への詳細なフィードバック



- 案件と映像翻訳者の仕事を最良のかたちでマッチングするシステム「JVTA My Page」に正式登録

- 受注を継続するためのノウハウを個別指導

STEP5

合格者OJT (On the Job Training)

- * 期間は約1カ月
- * 実務を想定した模擬発注と模擬納品
- * 無料で実施

- トライアルの合格者数名でチームを構成

- チームでディスカッションを交えながら課題を納品

- 実務部門のスタッフによるフィードバック

STEP4

トライアル受験 (プロ化試験)

- * 修了トライアル(1回目)は無料
- * 2カ月に1回開催
- * 何度でも受験可能
- * 1回につき受験料4,000円(税込)

- 個別の評価表・課題の解説&サンプル訳を配布

- 合格一步手前の「次点」対象者には、トレーナーが個別指導を実施



1人でも多くの修了生をプロの世界へ 翻訳受発注部門が徹底サポート

英(多言語)⇒日、日⇒英(多言語)の字幕翻訳・吹き替え翻訳を、映画・ドラマからドキュメンタリー・音楽・スポーツ番組などに至るまで取り扱うJVTAの受発注部門。映像翻訳案件の受注においては国内最大級の取扱量を誇る実務のプロ集団が、修了生のさらなる成長をサポートしています。

独自開発した字幕翻訳専門AI「Subit!」 最新ツールでスキルをアップデート

国の支援を得てJVTAが開発した字幕翻訳専用AIを受講期間中からプロになった後も活用。納品の精度を上げ、作業のスピードアップを図るノウハウを指導します。また、JVTAが取得している世界基準の情報セキュリティ認証(ISMS認証)に基づくツールの整え方や関連する法令などを定期的に指導しています。

